

## 教科目名 都市計画 (City Planning)

学科名・学年 : 都市・環境工学科 4年 (教育プログラム 第1学年 ◎科目)

単位数など : 必修 2単位 (前期2コマ, 授業時間 45.75時間)

担当教員 : 亀野 辰三

授業の概要			
近年、都市計画は「まちづくりとは、住むための良い環境をつくるもの」という環境重視の観点が強くと要請されている。そこで、本講義では、前半には従来と同じく都市計画法を中心に解説するが、後半は、近年導入が進んでいる環境重視の「地区計画」や都市計画法と並んで重要な建築基準法の考え方や都市計画における応用を述べる。			
達成目標と評価方法		大分高専目標 (B2), JABEE 目標(d1⑤) (g)	
(1) 都市問題や都市計画に関する基礎理論が理解できる。(定期試験)			
(2) 都市計画的な見方, 考え方を養うとともに, 自主的, 継続的に学習できる能力を養成する。(レポート)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1	1. 都市論	○都市計画の全体像について解説する。	【理解の度合い】
2	1.1 都市の範囲	○都市の意義と分類について学ぶ。	
3, 4	2. 都市計画法及び関連法規	○都市計画法及び関連法について理解する。	
5, 6	2.1 都市計画法	○都市計画の策定手法, 特に人口予測の手法と応用を理解する。	
7	2.2 地域地区に関する法規	○コンパクトシティやエコシティについて学ぶ。	
7, 8	3. 都市計画の策定	○都市計画の歴史について理解する。	
9	3.1 概説	○代表的な都市構造論, 特にハワードの田園都市論について深く学ぶ。	
10, 11	3.2 調査		
12, 13	3.3 都市の将来ビジョン		
14	4. 都市計画の歴史		
	5. 都市構造論		
	5.1 田園都市論		
	5.2 我が国への導入		
15	前期中間試験		
16	(試験の解説)	○わからなかった部分を理解する。	【理解の度合い】
16	6. 土地利用計画	○土地利用計画の必要性と種類について学ぶ。	
17, 18	6.1 必要性	○用途地域について理解する。	
19	6.2 種類	○補助的地域地区について学ぶ。	
20	6.3 用途地域	○地区計画について学ぶ。	
21, 22	6.4 その他の地域地区	○建築基準法上の基礎用語を理解する。	
23	6.5 地区計画	○建築基準法上の道路について理解する。	
23	7. 建築基準法	○二項道路について理解する。	
24	7.1 概要	○建築確認について学ぶ。	
24	7.2 建築物と建築	○法定延容積率を理解する。	
25	7.3 敷地と道路の関係	○容積率の算定手法について理解する。	
26	7.4 建築確認	○市街地整備事業の全体像を理解する。	
27	7.5 建築可能な建築面積	○土地区画整理事業の仕組みを理解する。	
28	7.6 容積率		
28, 29	8. 都市の整備事業		
	8.1 整備手法の種類		
	8.2 土地区画整理事業		
30	前期末試験		【試験の点数】 点
	前期末試験の解答と解説	○わからなかった部分を理解する。	
履修上の注意	①都市計画は現実の日常生活の深く関連しているので, 日頃から新聞を読む習慣を付けること。②都市計画専用の大学ノートを用意すること(ルーズリーフは不可)。		【総合達成度】
教科書	平田・亀野・宮原・武井・内田, 環境・都市システム系教科書シリーズ16, 「都市計画」, コロナ社		
参考図書	石井・湯沢・亀野他共著, 「最新 都市計画第3版」, 森北出版		
自学上の注意	都市計画に関する演習問題を常時課すので, 学生は自ら教科書や参考書, インターネット等を用いて調べて提出すること。		
関連科目	測量学, 道路交通工学, 環境計画, 地域計画学		
総合評価	達成目標の(1)~(2)について定期試験とレポートで評価する。 総合評価=0.7×(2回の定期試験の平均)+0.3×(レポート) 総合評価が60点以上を合格とする。再試験は, 原則として実施しない。		【総合評価】 点